

令和6年度 全国学力・学習状況調査 指導方法等の改善計画

呉市立仁方中学校
(仁方中学校区)

全国平均値との差

	国語	数学
呉市教育振興基本計画〈指標〉	+5.0	+5.0
令和8年度	—	—
令和7年度	—	—
令和6年度	-4.1	-3.5
令和5年度	-7.8	-9.0
令和4年度	-1.0	-10.4

全国学力・学習状況調査の結果分析と今後の取組

◎・・・各学校 ◇・・・中学校区

<p>国語</p> <p>● 全国平均 ■ 県平均 ✕ 本校</p> <p>本校 <u>54%</u> 全国 <u>58.1%</u> 県 <u>58%</u></p>	<p>重点課題</p> <p>◎4—「短歌に用いられている表現の技法を説明したものとして適切なものを選択する」設問の通過率が、37.5%だった（全国 54.9%、県 53.5%）。また、1—「話し合いの中の発言について説明したものとして適切なものを選択する」設問が、47.5%だった（全国 63.2% 県 61.3%）。 ◇説明したものの中から正しいものを選択することに課題がある。【話すこと・聞くこと】</p> <p>改善の方策</p> <p>◎基本的知識の部分を反復学習させることで、技法名等が確実に言えるよう習得させる。また、選択肢の表現の違いに着目させ、内容の違いが理解できるようにする。 ◇自分の見方・考え方について話したい内容を整理し、相手や目的に応じて説明する活動を設定する。</p> <p>検証</p> <p>◎◇小学校・・・全国学力（設問1三）（第5・6学年、2月） 目標 68%→結果 78%（第5学年）81%（第6学年） 標準学力調査（設問6）（全学年、12月） 目標 50%→結果 % 中学校・・・2学期期末試験（表現技法や選択肢の問題 第3学年12月） 目標 70%→結果 71%</p>
<p>数学</p> <p>● 全国平均 ■ 県平均 ✕ 本校</p> <p>本校 <u>49%</u> 全国 <u>52.5%</u> 県 <u>52%</u></p>	<p>重点課題</p> <p>◎図形の領域では、全国よりも-13.5ポイントであった。特に説明のところでは、正答率は9.8%であった。解答類型を見ると、結論を仮定として読み取っている生徒が22%もあり、文章の読み取りが苦手である。また、関数領域の説明問題では、内容が不十分な生徒が多い。 ◇日常生活の問題、文章や表から読み取る問題を正しく読み取り、その解法を記述したり、説明したりするなど、表現することに課題がある。</p> <p>改善の方策</p> <p>◎問題に対して、何が問われているか読み取りの練習が必要である。問われていることを確認していくような授業展開も今後増やしていく。また、説明文を書く練習も必要である。説明文を教員が添削することや、グループやペアで確認する。 ◇問われていることを明確にするために、問題に線を引く。</p> <p>検証</p> <p>◎◇小学校・・・標準学力調査の「データ活用」に関する問題（第5学年） 目標 70%→結果 % 全国学力（設問5（4）問題（第5、6学年2月）） 目標 50%→結果 83% 中学校・・・実力試験（文章からの読み取り 第3学年2月） 目標 30%→結果 32%</p>

【来年度に向けて】

問われていることについて線を引き、必要な情報を整理する活動や、自分の考えを相手や目的に応じて説明する活動を積み重ねていく。（小学校）

基礎知識の習得を確実に定着させることと共に、言葉による表現の違いに敏感になり、理解を深める。

文章を読み取る問題を反復して練習するには、基礎的、基本的な知識・技能が必要である。この基本的、基本的な知識・技能を早く習得し、思考する問題に取り組めるようにする。（中学校）